

会津若松市地域公共交通計画アクションプラン
～利便増進実施計画～

令和5年3月

会津若松市

目次

1. 会津若松市地域公共交通計画アクションプランについて	1
1-1 本計画の目的・趣旨	1
1-2 本計画の位置づけ	1
1-3 本計画の計画期間	1
1-4 本計画の区域	1
2. アクションプラン	2
2-1 事務事業一覧	2
2-2 各事務事業の概要・取組内容・実施主体・スケジュール	4
施策①: データ活用によるバス路線の再編・見直し	4
施策②: 地域主体による「守り育てる公共交通」の推進	11
施策③: 中心部のサービス向上	13
施策④: 多様な交通モード等の連携	16
施策⑤: 利用環境の改善	23
施策⑥: 交通・まちづくりの連携	27
3. 本計画の進捗管理	30
3-1 本計画の評価指標・数値目標	30
3-2 本計画の進捗管理	30

1. 会津若松市地域公共交通計画アクションプランについて

1-1 本計画の目的・趣旨

本市は、「地域にとって望ましい公共交通ネットワークの姿」を明らかにし「まちづくりの取組との連携・整合」を確保する「地域公共交通の基本計画」の役割を果たすものとして、令和4年3月に「会津若松市地域公共交通計画」を策定し、地域公共交通を取り巻く現状と課題、それに対する基本的な方針と目標、実施すべき施策及び事業について明らかにしたところである。

この「会津若松市地域公共交通計画」に掲げた施策・事業の推進を図るため、具体的な事務事業を位置付けし、各事業主体が取り組むべき役割・事務事業の分担を明らかにするとともに、PDCAサイクルによる評価・検証を行うため事務事業の進捗状況の確認を行うことを目的として「会津若松市地域公共交通計画アクションプラン～利便増進実施計画～」を策定する。

1-2 本計画の位置づけ

令和4年3月に策定した「会津若松市地域公共交通計画」の実施計画として策定する。

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）に基づく「地域公共交通利便増進実施計画※」を含む計画とする。

※地域公共交通利便増進実施計画とは

地域公共交通利便増進実施計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）に基づく計画で、地域公共交通の基本計画である「地域公共交通計画」を実現するための実施計画の一つである。

地域公共交通計画において、地域公共交通特定事業のうち「地域公共交通利便増進事業」に関する事業を記載した場合、同事業の実施計画である「地域公共交通利便増進実施計画」を作成することができることとなっている。この計画は、地方公共団体が交通事業者等の同意のもとに策定するものである。

1-3 本計画の計画期間

本計画の計画期間は、令和5年度から令和8年度までとする。

1-4 本計画の区域

本計画の区域は、会津若松市の全域とする。

2. アクションプラン

2-1 事務事業一覧

施策①～⑥に対応した事務事業を次のとおり定める。

施策体系		事務事業名	地域公共交通 利便増進実施計 画
施策①:デー タ活用による バス路線の 再編・見直し	①-1 広域路線の確 保・維持・改善 ※重点事業	運行状況・利用状況の把握	
		データに基づく路線の維持・改善	○
	①-2 市内郊外エリア の路線バス見直し ※重点事業	金堀線の再編	○
		芦ノ牧線の再編	○
		その他の路線の再編	○
施策②:地域 主体による 「守り育てる 公共交通」の 推進	②-1 地域主体コミュ ニティ交通の制度・仕 組みの構築 ※重点事業	持続可能な地域コミュニティバスの 運行	○
		「地域主体コミュニティ交通支援制 度」の構築	
施策③:中心 部のサービス 向上	③-1 幹線軸の維持	幹線軸における路線バス利用の促 進	○
	③-2 中心部における 新たな技術を活用した 移動手段の導入 ※重点事業	AIオンデマンドバスの導入	○
		相乗りタクシーの導入	○
施策④:多様 な交通モード 等の連携	④-1 中心拠点・乗継 拠点の形成	会津若松駅前都市基盤整備基本 構想の実現	
		神明通りの待合環境・乗継環境の 改善	
		竹田総合病院前の待合環境・乗継 環境の改善	
		西若松駅前の待合環境・乗継環境 の改善	
		郊外の乗継拠点の待合環境・乗継 環境の改善	

施策体系		事務事業名	地域公共交通 利便増進実施計 画	
	④-2 中心拠点・乗継 拠点における乗継利 便性の向上	ダイヤ及び乗場設定の見直し	○	
		ダイヤの共有		
	④-3 公共交通とその 他移動サービスの連 携方策の検討	送迎バスとの連携施策の検討		
		小規模貨物の貨客混載による輸送 の研究		
	④-4 地域の課題解 決に資するMaaSの進 化・深化 ※重点事業	多様な交通モードを束ねる		
		移動目的との連携		
施策⑤:利用 環境の改善	⑤-1 中心拠点・乗継 拠点における案内強 化	総合案内版・乗場案内サイン・バス 停盤面等の整備・改善		
		⑤-2 情報・乗場・車 両の見直し	総合案内マップの作成	
		低床バス・ハイブリッドバス・電気バ ス・UD タクシーの導入		
	⑤-3 運賃体系・支払 い方法 ※重点事業	バスロケーションシステムの活用		
		キャッシュレス決済の導入		
		予約・配車・決済までのサービス提 供		
施策⑥:交 通・まちづくり の連携	⑥-1 異業種との連携	運行データの標準化・オープンデー タ化の推進		
		商業分野・観光分野との共創		
	⑥-2 多様な主体との 連携 ※重点事業	商業分野との共創		
		観光分野との共創		
		企業・事業者との共創		
		地域住民との共創		

2-2 各事務事業の概要・取組内容・実施主体・スケジュール

施策①: データ活用によるバス路線の再編・見直し

施策の目的	■ 各種データを活用して、適切な路線バスネットワークを構築する。
効果	■ 路線バスの利用促進 ■ 路線バスの運行の効率化

①-1 広域路線の確保・維持・改善 ※重点事業

事務事業名	運行状況・利用状況の把握				
事業概要	利用実績、バスロケーションシステム等の運行情報データを活用して運行状況、利用状況を適切に把握する。 <乗降調査> ・補助対象路線を対象に、各バス停の乗降人数を調査する。合わせて、人による調査以外の効率的な調査手法の検討を行う。 <運行情報のデータ化> ・時刻表やバスロケーションシステムのデータの収集・更新及びオープンデータ化を継続する。				
関係事業者	市、バス事業者				
関連する事務事業	⑤-3 キャッシュレス決済の導入				
取組内容	実施主体(案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
乗降調査	市	・調査実施	・調査実施	・調査実施	・調査実施
		・調査手法の検討・改善 			
運行情報のデータ化	バス事業者	・運行データ収集・更新	・運行データ収集・更新	・運行データ収集・更新	・運行データ収集・更新

【参考: 効率的な調査手法の主な事例】

調査手法	内容	備考
運賃箱データ	運賃収入、定期券の発売実績、回数券の着券精算等の収入から推計、または整理券の枚数カウントにより把握	バーコード付き整理券により、乗車バス停、降車バス停の両方を記録する機能を持った運賃箱もある
赤外線センサー	系統別の乗降数を出入り口に設置したカウンタで乗降人数を自動把握	乗降人数のみの把握
カメラ	バス車内に設置したカメラにより乗降人数を自動把握	AI カメラの場合、年代・性別など属性分析情報も取得可能
ICカード	ICカードのログデータから、乗車バス停、降車バス停を集計(時間帯別、券種別などでのOD表も作成可能)	いわゆる「ビッグデータ」集計となるため何らかの集計システムの構築が必要

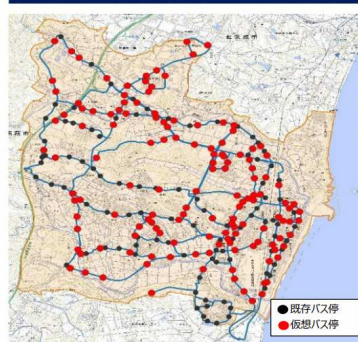
事務事業名	データに基づく路線の維持・改善				
事業概要	<p>データを基に適正なサービスレベルを設定し、自主運行路線等の統合、見直し、公共交通空白地域への対応等を図る。</p> <p><自主運行路線等の統合、見直し></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主運行路線について、利用状況や運行状況のデータに基づき、主に日中の時間帯の運行形態を見直す。 <p><交通空白地域対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地における、交通空白地域を解消するため、自主運行路線のカバーエリア拡大に対する支援を検討する。 				
関係事業者	市、バス事業者				
関連する事務事業	③-2 AI オンデマンドバスの導入				
取組内容	実施主体(案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
自主運行路線の見直し	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・データ収集 ・日中の運行形態の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行形態見直し 		
交通空白地域の対策	市	<ul style="list-style-type: none"> ・自主運行路線のカバーエリア拡大に対する支援検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援実施 		

【参考事例:呼出型最適経路バス「MyRide のるる」(茨城県高萩市)】

・高萩市では、朝と夕方～夜は定時定路線バス、日中は呼出型最適経路バスに切り替えて運行することで、ユーザーのニーズに即し、利便性を向上させている。(出典:高萩市・茨城交通(株)プレスリリース)

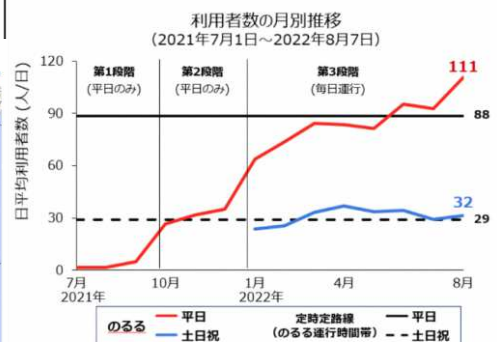


のるる運行開始後 (2022年8月時点)



バス停: 237箇所
(既存バス停: 96箇所+仮想バス停: 141箇所)

- 定時定路線^{※1}と比べて、平日の利用者数は約**1.3倍**に増加
- 直近の平日平均利用者数は**111人/日**^{※2}
- 累計登録者数は約**1,500人**^{※3}



※1: のるるの運行時間と同じ時間帯での比較
 ※2: 2022年8月1～5日の平均値
 ※3: 2022年8月7日時点

①-2 市内郊外エリアの路線バス見直し ※重点事業

事務事業名	金堀線の再編				
事業概要	利用者が少なく、かつ固定化している金堀線について、運行本数の減便又は日中の時間帯のデマンド交通の導入等、運行の効率化を進める。				
関係事業者	市、バス事業者				
関連する事務事業	③-2 AI オンデマンドバスの導入				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
金堀線の再編	市	<ul style="list-style-type: none"> 再編案検討 地元説明 再編案周知 	<ul style="list-style-type: none"> 再編実施 評価・検証 		

【金堀線の現状・問題点等】

- 金堀線は、若松駅前と会津短大等の施設と金堀を結ぶ市内路線。会津若松駅にて鉄道と接続している。
- 平成 30 年度の路線再編(幹線軸形成)により、一箕小学校のスクール利用が見込める運行ルート(蚕養神社入口経由)に変更。
- 金堀⇒蚕養神社入口へは、小学校(一箕小学校)のスクール利用がある。帰りの便の利用は見られない。
※通学定期補助の対象(教育委員会)
小学生 6 名(小 1:2 名、小 2:1 名、小 6:3 名) 中学生 2 名(中 2:1 名、中 3:1 名)
- 利用者が固定化され、スクール利用以外の利用が少ない。(過去には通勤での利用が見られた)
- 利用のほとんど見られない区間がある。(大町一丁目～若松駅前、行仁町周辺)
- 利用のほとんど見られない便がある。(若松駅前行の 1 便以外)
- 総合病院にアクセスしていない。
- 滝沢坂下～若松駅前間は MyRide さわやか号(R2 実証運行)の運行エリアであった

【金堀線の見直し・再編の方向性(案)】

①利用実態に合った運行ルートの見直し

- 力神堂前～一之町間のルート見直し。(MyRide さわやか号等による対応)
- 起終点の見直し。(若松駅前、竹田病院など)

②運行形態の見直し

案 1:ワゴン車による乗合(車両のダウンサイジング)

- 乗合タクシーによる定時定路線またはデマンド交通の運行。
- デマンド交通の場合は、スクール対応の検討が必要。
- デマンド交通は、単独では成立しづらいので、MyRide さわやか号との一体的な運用についても検討。

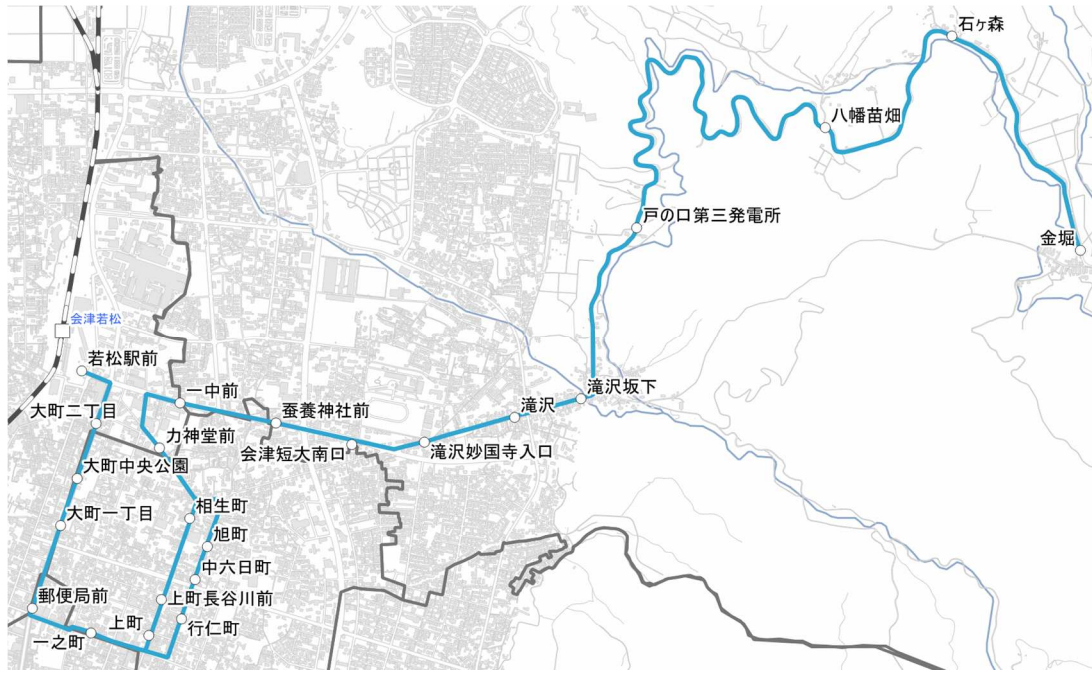
案 2:乗用タクシーによる対応

- タクシー助成による最低限の移手段の確保(目的地限定)
- タクシーの定額料金、定期券などの導入検討(対象者・エリア・時間帯を限定)
- スクール対応の検討が必要。

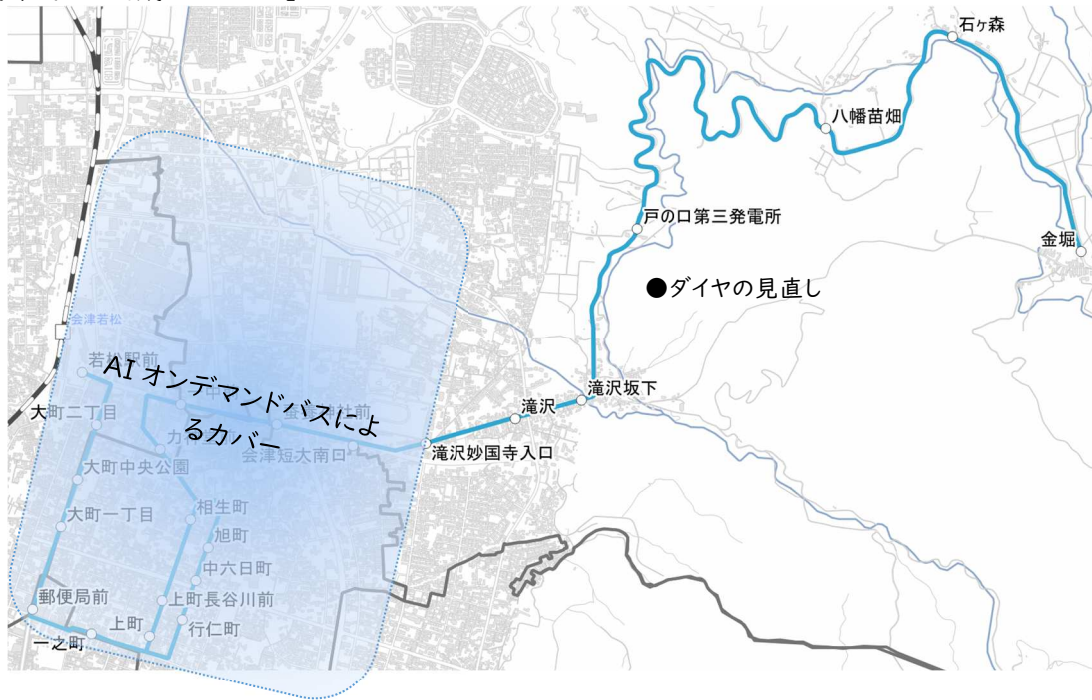
③地域主体コミュニティ交通としての取組を推進

- 地域住民による現状・問題の把握や、検討組織の立ち上げなど、地域の実情・特性を踏まえた検討を行う。
- 見直し後も、地域住民の関与・活用により、利用促進や継続的な改善に繋げる。

【現在の金堀線】



【将来的な金堀線のイメージ】



事務事業名	芦ノ牧線の再編				
事業概要	会津線と並走している区間のある芦ノ牧線について、ダイヤの調整などによる芦ノ牧温泉駅からの接続性の向上、及び利用が少ない区間の運行の効率化を進める。				
関係事業者	市、バス事業者、鉄道事業者				
関連する事務事業	④-3 送迎バスとの連携施策の検討、④-3 小規模貨物の貨客混載による輸送、⑥-2 観光分野との共創				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
芦ノ牧線の再編	市	<ul style="list-style-type: none"> ・再編案検討 ・地元説明 ・再編案周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編実施 ・評価・検証 		

【芦ノ牧線の現状・問題点等】

- 若松駅前(BT)と神明通りを經由し、会津高校、大戸小学校等の施設と大川発電所前を結ぶ市内路線。会津若松駅にて鉄道と接続している。
- 平成30年度の路線再編(幹線軸形成)により、日中時間帯は竹田病院を經由している。
- 小学校のスクール利用がある。(大戸小学校、門田小学校) ※令和5年度から大戸小学校が特認校になる。
- 収支が約2割で市の負担額が大きい。
- 新道と旧道に分かれており、旧道は集落が分布しているが道路が狭く、新道は集落が少なく利用も少ない。
- 芦の牧車庫～大川発電所前の運行が複雑で分かりづらい。
- 利用のほとんど見られない区間がある。(あまや駅周辺、新道など)
- 利用のほとんど見られない便がある。(闇川発の1便、若松駅前行の10便・11便) ※要確認(過去には闇川発を利用する高齢女性がいた)
- 会津鉄道と並行している。(経路の重複、時間的重複)
- 観光需要が取り込めていない(芦ノ牧温泉駅には乗り入れていない、芦の牧温泉の利用がない、宿泊施設の送迎バスがある)
- 闇川地区でボランティア輸送の取組が行われている。

【芦ノ牧線の見直し・再編の方向性(案)】

①芦の牧周辺の分かりやすく使いやすい運行ルートへの見直し

- 新道・旧道ルートの運行パターンの見直し
- 芦の牧車庫～大川発電所前間のルート見直し
- 上記の一部区間について、通勤・通学時間帯を除いたデマンド化の検討

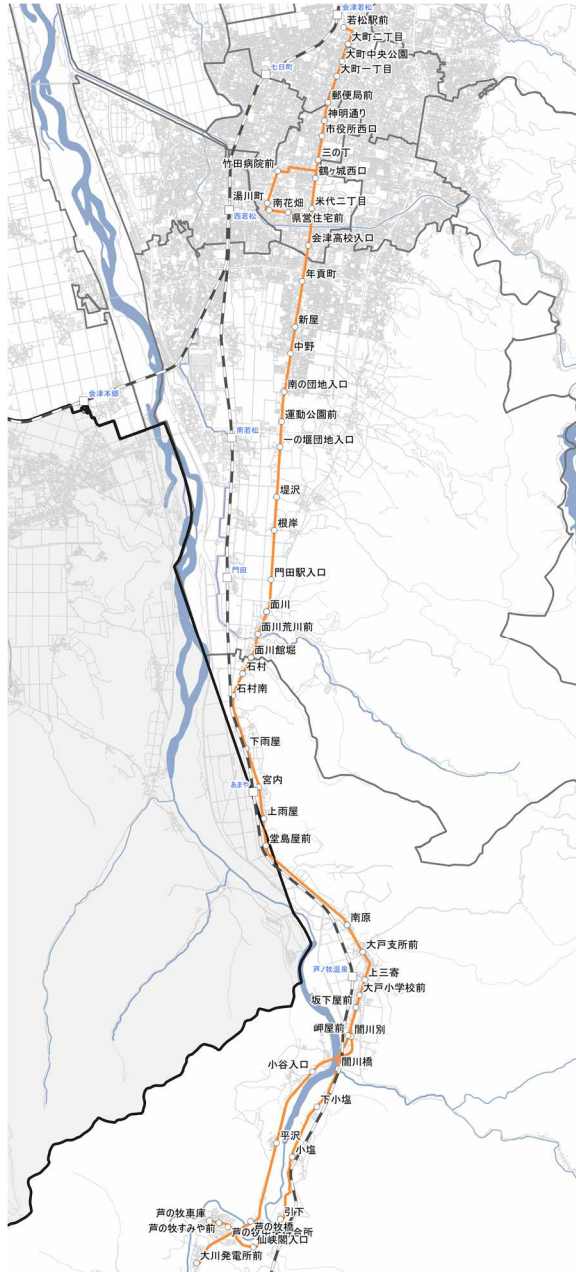
②利用実態に見合ったダイヤ見直し

- 闇川発の1便、若松駅前行の10便・11便の減便検討
- 学区外から大戸小学校への通学対応の検討

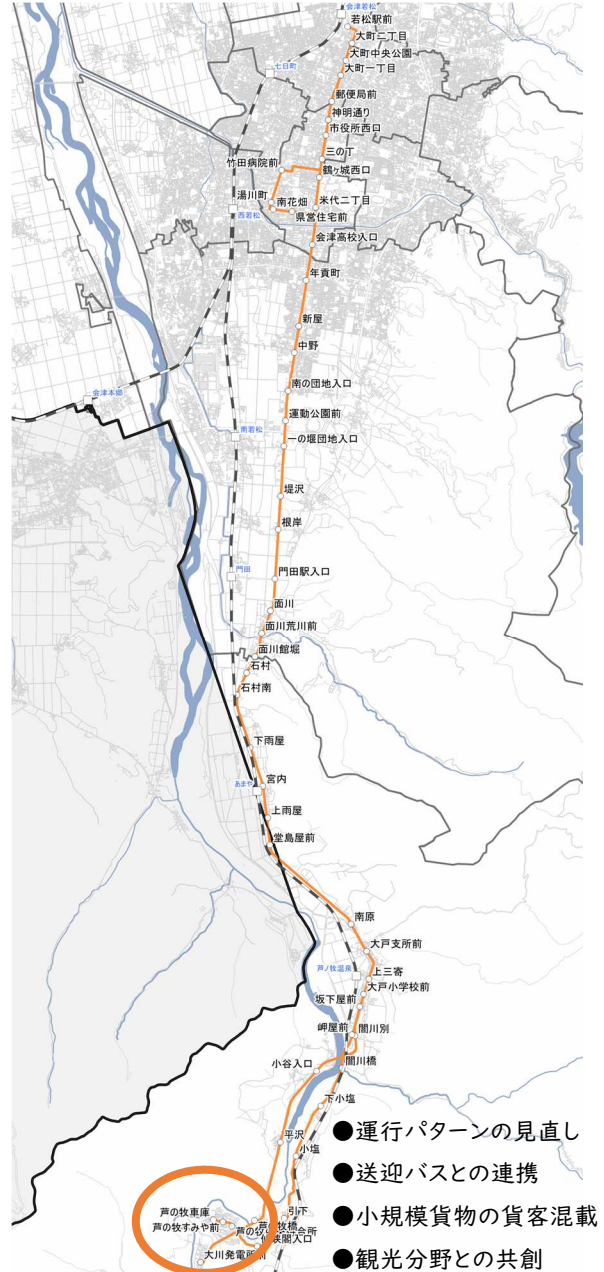
③会津鉄道と連携した観光需要の取り込み

- 芦ノ牧温泉駅への乗り入れ(駅前の転回スペースが必要)
- 芦ノ牧温泉駅から芦の牧温泉への二次交通(旅館送迎バスとの調整)
- 会津 Samurai MaaS の取組(共通デジタルチケット等)

【現在の芦ノ牧線】



【将来的な芦ノ牧線のイメージ】



事務事業名	その他の路線の再編				
事業概要	その他の路線について利用状況に応じて再編を検討する。				
関係事業者	市、バス事業者、鉄道事業者				
関連する事務事業	①-1 運行状況・利用状況の把握				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
その他の路線の再編	市		<ul style="list-style-type: none"> ・路線調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村との調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編案作成
			<ul style="list-style-type: none"> ・再編検討 		

施策②：地域主体による「守り育てる公共交通」の推進

施策の目的	■ 地域の実情に応じた公共交通ネットワークを構築する。
効果	■ 公共交通空白地域の解消 ■ 地域主体の運行による地域の活性化

②-1 地域主体コミュニティ交通の制度・仕組みの構築 ※重点事業

事務事業名	持続可能な地域コミュニティバスの運行				
事業概要	住民組織が主体となって運行する地域コミュニティバスの持続的な運行を確保するため、利用促進施策やダイヤの見直しを図り、住民利用の促進及び運行の効率化を進める。				
関係事業者	住民組織、バス事業者、市				
関連する事務事業	②-2 「地域主体コミュニティ交通支援制度」の構築				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
金川町・田園町住民コミュニティバスの運行	住民組織	・運行継続	→	→	→
		・評価・検証	→	→	→
河東地域内交通の運行	住民組織	・運行継続	→	→	→
		・評価・検証	→	→	→
北会津地域内交通の運行	住民組織	・運行継続	→	→	→
		・評価・検証	→	→	→
湊地区地域内交通の運行	住民組織	・運行継続	→	→	→
		・評価・検証	→	→	→

【持続可能な運行確保のための取組】

		住民組織	バス事業者	市
利用促進	地域住民への周知活動(回覧・掲示等)	実施	—	支援
	お出かけツアー等	企画・開催	増車対応等	支援
	説明会・乗り方教室	実施	参加・車両対応等	支援
運行改善(運行経路・バス停、運行日・ダイヤの見直し等)		提案・検討	運行事業者の視点でサポート	調整・支援






乗車体験ツアー



定例ランチ会



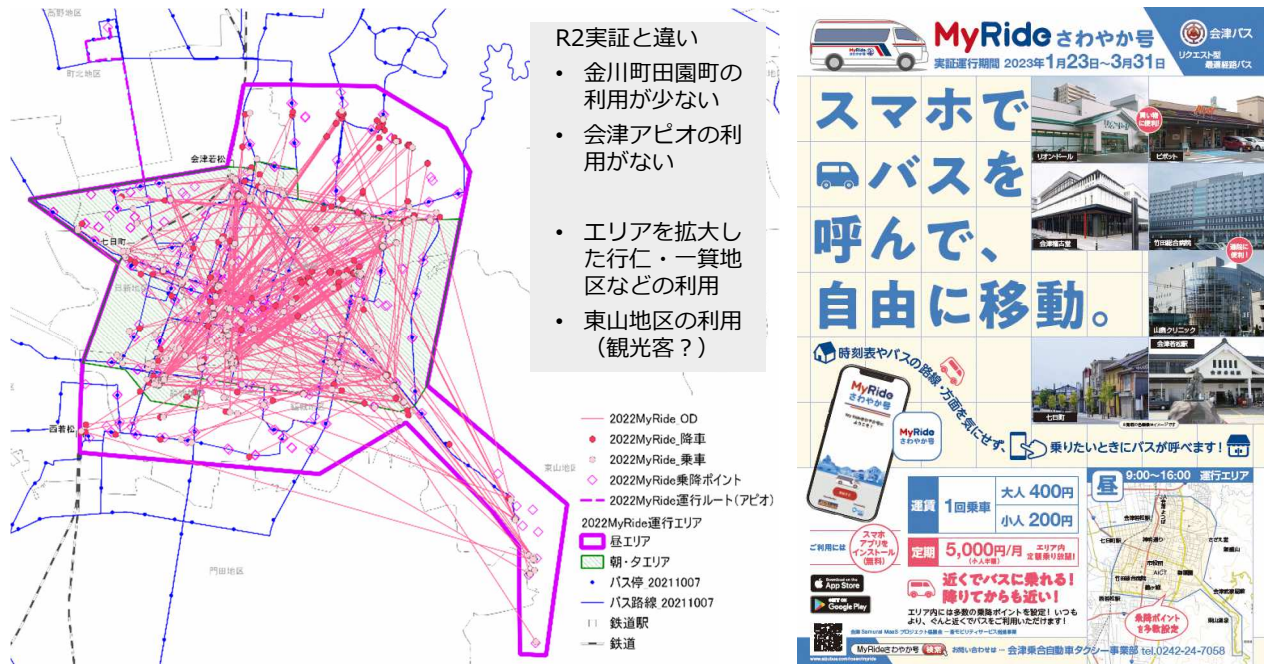
介護予防教室との連携

事務事業名	「地域主体コミュニティ交通支援制度」の構築				
事業概要	金川町・田園町、湊地区、北会津地区、河東地区における「地域協働運行方式」の評価・検証を行い、地域の実情・特性を踏まえて、地域・住民が選択できる「地域主体コミュニティ交通支援制度」の構築を推進する。				
関係事業者	市、住民組織、バス事業者				
関連する事務事業	②-1 持続可能な地域コミュニティバスの運行				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
「地域主体コミュニティ交通支援制度」の構築	市	・制度検討 	・制度設計 	・制度運用 	

③-2 中心部における新たな技術を活用した移動手段の導入 ※重点事業

事務事業名	AIオンデマンドバスの導入				
事業概要	定時定路線ではカバーしきれないエリア、目的等の需要に対し、AIオンデマンドバスを導入する。				
関係事業者	バス事業者、市				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
AI オンデマ ンドバスの導 入	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・データ収集 ・AI オンデマ ンドバスの導 入検討 			
			<ul style="list-style-type: none"> ・AI オンデマ ンドバスの導 入 		

【MyRide さわか号の実証運行(左:R3 年度実証運行の結果、右:R4 年度実証運行のチラシ)】



事務事業名	相乗りタクシー導入の検討			
事業概要	バス利用が困難な人の移動手段の確保を図るため相乗りタクシーの導入について検討する。			
関係事業者	タクシー事業者、市			
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)		
		R5	R6	R7
相乗りタクシー導入の検討	タクシー事業者	・先進事例 調査研究		・実証事業
		→		・実証検証

【参考事例：水都タクシー（水戸市）】

- ・一括定額運賃でエリア内定額 500 円・1,000 円で利用できる。相乗りでのお得感を

【参考事例：まいにちタクシー（糸魚川市）】

- ・一括定額運賃で市内中心部エリア乗り放題のサブスクリプションの実証実験を実施

国田地区 にお住まいの皆さんへ 【有効期間】
令和4年10月1日～
令和5年3月31日

(上国井町、下国井町、田谷町)

日中におでかけの際は、

**すいっと
水都タクシー** が

とっても **お得** です。

【お住まいの地区から指定目的地まで】

指定の地区内・駅など
片道 **500円** または **1,000円**

医療機関等
(市内全域及び郡市内)

片道 **1,000円**

運行内容

【利用対象者】 対象となる地区にお住まいの方

【運行日】 月曜日～土曜日（日曜日、祝日、年末年始は運休）

【運行時間帯】 午前10時から午後4時まで

【利用可能区間】 お住まいの地区と指定目的地の間 ※料金及び詳細は、裏面へ→

ご予約方法

☎0120-53-1164 かんこうだいいちこうつう
(観光第一交通㈱) に電話してください。

2日前から予約できます。【受付時間】 午前7時から午後9時まで

※ 必ず「『水都（すいっと）タクシー』を予約したい」とお伝えください。

【この制度についてのお問合せ先】 水戸市役所 交通政策課 029-291-3804 (直通)

**エリア内
毎日運行** 市内中心部半径約 2.5km のエリアが

タクシー定額乗り放題！

一日何回でも
乗降可能！



5ヶ月間の
社会実験

新たな交通サービス
導入の検証を目的と
した実証実験です。
登録
定員 **20人**

2022年 10月20日 木 ~ 2023年 3月19日 日

月額料金	一般 12,000円 /月	高齢者・障がい者 10,000円 /月
対象者	右側の地区にお住まいの方 押上・寺町・扇町・大町・中央・新七・新鉄・横町・清岡・一の宮・蓮台寺・京ヶ崎	
利用方法	タクシー会社に電話し「まいにちタクシー利用」と伝え、ご乗車の際に定額券を提示して下さい。 ※エリア内なら何回でも乗降可能	
タクシー会社	糸魚川タクシー / 小瀬タクシー ☎ 552-0818 / ☎ 552-0028	
利用時間	毎日 9:00 ~ 15:00 ※年末年始 12/31 - 1/2 はご利用いただけません。	
事前申込	毎月 15日 17:00 締切 ※毎月 20 名を超過した場合は締切となります。	

事前申込・お問い合わせ先：有限会社 糸魚川タクシー ☎ 552-0818

企画・運営：糸魚川市タクシー実証実験協議会（事務局：糸魚川市都市政策課内）

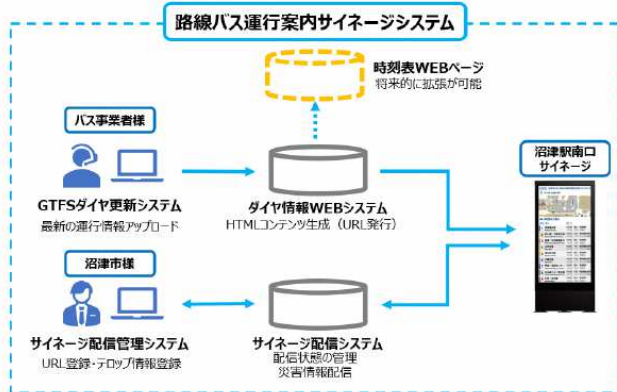
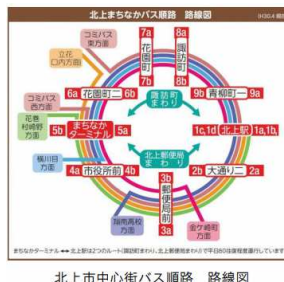
事務事業名	神明通りの待合環境・乗継環境の改善				
事業概要	商店街及び主要な商業施設と連携し、待合所・乗継案内所の整備を図る。 また、ICTによる乗車案内システムの整備を図る。 <待合所・乗継案内所の整備> ・商店街や商業事業者と連携して、商業施設の一部を活用した待合所・乗継案内所の整備を進める。 <乗車案内システムの整備> ・待合所・乗継案内所の整備に合わせて、路線バスの発着情報・運行情報等を表示するインフォメーション機能の整備を進める。				
関係事業者	市、バス事業者				
関連する事務事業	③-1 幹線軸における路線バス利用の促進、 ⑤-2 バスロケーションシステムの活用				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
待合所・乗継案内所の整備	市	・商店街等との情報交換・協議		・整備案検討	・整備案まとめ
乗車案内システムの整備	バス事業者	・商店街等との情報交換・協議		・整備案検討	・整備案まとめ

事務事業名	竹田総合病院前の待合環境・乗継環境の改善				
事業概要	病院と連携し病院待合室を活用し、待合環境の改善を図るため、ICTによる路線バスの発着情報・運行情報等を表示するインフォメーション機能の整備を進める。				
関係事業者	市、バス事業者、病院事業者				
関連する事務事業	③-1 幹線軸における路線バス利用の促進、 ⑤-2 バスロケーションシステムの活用				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
乗車案内システムの整備	バス事業者	・病院との情報交換・協議		・整備案検討	・整備案まとめ

事務事業名	西若松駅前の待合環境・乗継環境の改善				
事業概要	シェルターやベンチを設置し、待合環境・乗継環境の改善を進める。また、駅舎内にICTによる乗車案内システムの整備を進める。				
関係事業者	市、バス事業者、鉄道事業者				
関連する事務事業	③-1 幹線軸における路線バス利用の促進、 ⑤-2 バスロケーションシステムの活用				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
シェルター、ベンチの設置	市		・シェルター整備		
乗車案内システムの整備	バス事業者 鉄道事業者		・整備案検討		・整備案まとめ

【参考事例:GTFS データを用いた路線バス運行案内サインージュシステム(沼津市)】

【商業施設内にバス待合スペースやバス車両接近情報システムを設置(岩手県北上市)】



あしあとランプ (バス車両接近情報システム)



バス待合スペース



百貨店内の天井にバス停の案内表示



百貨店内の床にバス停の案内表示



百貨店前にある案内標識

事務事業名	郊外の乗継拠点の待合環境・乗継環境の改善				
事業概要	地域コミュニティバスと路線バスの乗継拠点となるバス停にシェルターやベンチ等の整備を図る。				
関係事業者	市、バス事業者				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
シェルター、ベンチの設置	市		・湊地区整備 →	・他の乗継拠点の整備 →	

【市内の乗継拠点の待合環境の現状】

バス停名称	拠点	対象路線	待合環境			備考
			上屋	側壁	ベンチ	
会津医療センター	乗継	・広域路線(塩川・喜多方線) ・地域内路線(みなづる号)	有	有	有	・病院入口・建物内に待合環境あり
湊小学校前	乗継	・広域路線(河東・湊線) ・地域内路線(みなとバス)	無	無	無	
強清水	乗継	・広域路線(河東・湊線) ・地域内路線(みなとバス、みなづる号)	無	無	無	
広田駅	乗継	・鉄道 ・広域路線(河東・湊線、米代・河東線) ・地域内路線(みなづる号)	無	無	無	・駅構内で待てるが、バス停は少し離れている
河東支所	乗継	・広域路線(河東・湊線) ・地域内路線(みなづる号)	有	有	有	・支所入口・建物内に待合環境あり
会津西病院前	乗継	・広域路線(本郷循環線) ・地域内路線(北会津ふれあい号)	有	有	有	・病院入口・建物内に待合環境あり
北会津支所	乗継	・広域路線(北会津線) ・地域内路線(北会津ふれあい号)	有	有	有	・支所入口・建物内に待合環境あり



湊小学校バス停
(左:原長谷川行き、右:西若松駅行き)

強清水バス停

④-2 中心拠点・乗継拠点における乗継利便性の向上

事務事業名		ダイヤ及び乗場設定の見直し			
事業概要	中心拠点・乗継拠点で、鉄道、路線バス、地域内交通等をスムーズに乗り継いで目的地に移動できるよう、ダイヤ及び乗場設定の見直しを図る。 <ダイヤの見直し> ・鉄道、路線バス、地域内交通のダイヤを相互に事前共有し、乗継時間の短縮を図るためのダイヤの見直しを行う。 <乗場設定の見直し> ・会津若松駅前都市基盤整備基本構想の進捗に合わせて会津若松駅前の乗場設定の見直しを進める。				
関係事業者	バス事業者、鉄道事業者、市				
関連する事務事業	④-1 会津若松駅前都市基盤整備基本構想の実現				
取組内容	実施主体(案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
ダイヤの見直し	バス事業者 鉄道事業者	・ダイヤ改正の事前共有の仕組みづくり	・相互に乗継を意識したダイヤ改正		
乗場設定の見直し	バス事業者	・会津若松駅前整備に合わせた見直し			

事務事業名		ダイヤの共有			
事業概要	交通事業者、行政間でダイヤの共有を図り、利用者に総合的に情報提供を行う。				
関係事業者	バス事業者、鉄道事業者、市				
取組内容	実施主体(案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
ダイヤの共有	バス事業者 鉄道事業者 市	・ダイヤ改正の事前共有の仕組みづくり	・ダイヤの事前共有		
			・総合的な情報提供の仕組みづくり	・総合的な情報提供	

④-3 公共交通とその他移動サービスの連携方策の検討

事務事業名	送迎バスとの連携施策の検討				
事業概要	病院や旅館、学校等が実施している送迎バスの移動需要の代替・役割分担について、事業者と連携調整を図り、検討を進める。				
関係事業者	市、バス事業者、タクシー事業者、送迎バス実施主体				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
送迎バスの 実態調査・ヒアリング調査	市	・温泉旅館街 ヒアリング調査		・病院等ヒア リング調査	
連携施策の 検討	市		・温泉旅館街 との協議		
				・実証事業	

事務事業名	小規模貨物の貨客混載による輸送				
事業概要	観光客の手荷物配送等、小規模貨物の輸送需要に対して、公共交通による貨客混載の導入を図る。 <路線バスによる貨客混載> ・温泉旅館街に向かう路線バスについて、温泉旅館街、観光事業者と連携して観光客の荷物を配送する貨客混載事業を実施する。				
関係事業者	バス事業者、市				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
路線バスに よる貨客混 載	バス事業者	・温泉旅館街 への貨客混 載の実施			
			・他の需要調 査		・実証事業

④-4 地域の課題解決に資するMaaSの進化・深化 ※重点事業

事務事業名		多様な交通モードを束ねる			
事業概要	鉄道、路線バス、タクシー、カーシェア、シェアサイクル等の多様な交通モードの一括経路検索システム、運賃一括支払いシステムの導入を図る。 <運賃一括支払いの仕組みづくり> ・運賃の一括支払い化に向けて、決済及び分配の仕組み作りを行うため、関係事業者間で協議を行う。 <システム開発> ・決済及び分配のデジタル化を進める。				
関係事業者	会津 SamuraiMaaS プロジェクト推進協議会 (SMP 協議会)、各交通モード事業者				
関連する事務事業	④-4 移動目的との連携、⑤-3 キャッシュレス決済の導入、⑤-3 予約・配車・決済までのサービス提供				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
運賃一括支払いの仕組みづくり	SMP 協議会	・仕組み作りの協議			
システム開発	SMP 協議会			・システム開発	

事務事業名		移動目的との連携			
事業概要	通院、買い物、観光等、移動目的との連携を図る。 <連携施策の研究> ・通院、買い物、観光等の移動目的に係る予約、決済と交通の連携を図るため、調査・研究を行う。				
関係事業者	SMP 協議会、各交通モード事業者、その他事業者				
関連する事務事業	④-4 多様な交通モードを束ねる、⑤-3 キャッシュレス決済の導入、⑤-3 予約・配車・決済までのサービス提供				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
連携施策の研究	SMP 協議会	・調査研究			
					・調査研究まとめ

施策⑤：利用環境の改善

施策の目的	■各公共交通の利用環境を改善する。
効果	■利用者に分かりやすい利用環境 ■ユニバーサルデザインの推進 ■環境負荷の低減

⑤-1 中心拠点・乗継拠点における案内強化

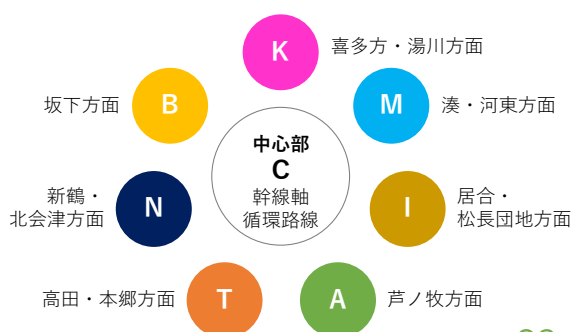
事務事業名	総合案内版・乗場案内サイン・バス停盤面等の整備・改善				
事業概要	<p>中心拠点・乗継拠点に乗場案内、乗継案内、行先表示等を備えた総合案内版、乗場案内サイン、バス停盤面等の整備、改善を図る。</p> <p><総合案内板、乗継案内サイン、バス停盤面等の整備> ・会津若松駅前都市基盤整備基本構想の進捗にあわせて、会津若松駅前の総合案内板、サイン設備、バス停盤面等の整備を行う。</p> <p><路線名、行先表示の改善、アルファベット、ルートカラーの導入検討> ・市民・観光客等、誰にとって分かりやすい路線名、行先表示の改善を進める。また、アルファベット、ルートカラーの導入を検討する。</p>				
関係事業者	市、バス事業者、鉄道事業者				
関連する事務事業	④-1 会津若松駅前都市基盤整備構想の実現				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
総合案内板の整備、乗継案内サイン、バス停盤面等の整備	市	・整備案検討			・会津若松駅前整備に合わせて整備着手
路線名、行先表示の改善、アルファベット導入、ルートカラーの検討	バス事業者	・整備案検討			・会津若松駅前整備に合わせて整備着手

【参考事例：福島駅前バス乗場案内表示】

シ]



【方面別アルファベット・ルートカラーのイメージ】



⑤-2 情報・乗場・車両の見直し

事務事業名		総合案内マップの作成			
事業概要	公共交通の情報や中心拠点・乗継拠点の情報を示す「総合案内マップ」を作成する。				
関係事業者	市、バス事業者、鉄道事業者				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
総合案内マップの作成	市	・内容検討	・作成	・更新	・更新

事務事業名		低床バス・ハイブリッドバス・電気バス・UD タクシーの導入			
事業概要	車両の更新に合わせて、低床バス・ハイブリッドバス・電気バス・UD タクシーの導入を図る。				
関係事業者	バス事業者、タクシー事業者				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
低床バスへの更新	バス事業者	・随時更新			
ハイブリッドバス・電気バスへの更新	バス事業者	・随時更新			
UD タクシーへの更新	タクシー事業者	・随時更新			

事務事業名		バスロケーションシステムの活用			
事業概要	バスロケーションシステムを活用し、利用者への運行情報の提供を図る。				
関係事業者	バス事業者、市				
関連する事務事業	⑥-1 運行データの標準化・オープンデータ化の推進				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
バスロケーションシステムのオープンデータの更新	バス事業者	・データ更新	・データ更新	・データ更新	・データ更新
分かりやすいシステムへの改修	バス事業者		・改修案検討		・改修着手

⑤-3 運賃体系・支払い方法 ※重点事業

事務事業名	キャッシュレス決済の導入				
事業概要	各交通事業者の実情に応じて、QRコードやクレジットカード、交通系 IC カード、タッチカード等による運賃支払システムの導入検討及び推進を図る。 <バス事業者> ・キャッシュレス決済の導入を進める。 <タクシー事業者><鉄道事業者> ・導入に向けて研究を進める。				
関係事業者	バス事業者、鉄道事業者、タクシー事業者、SMP 協議会				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
各種キャッシュレス決済に対応した運賃支払いシステムの導入検討及び推進	バス事業者	・バス事業者導入			
	鉄道事業者 タクシー事業者	・鉄道事業者の導入研究			
チケットの電子化の推進	SMP 協議会	・電子チケットの拡大			

【参考事例：路線バスにおけるキャッシュレス決済の導入（茨城交通）】

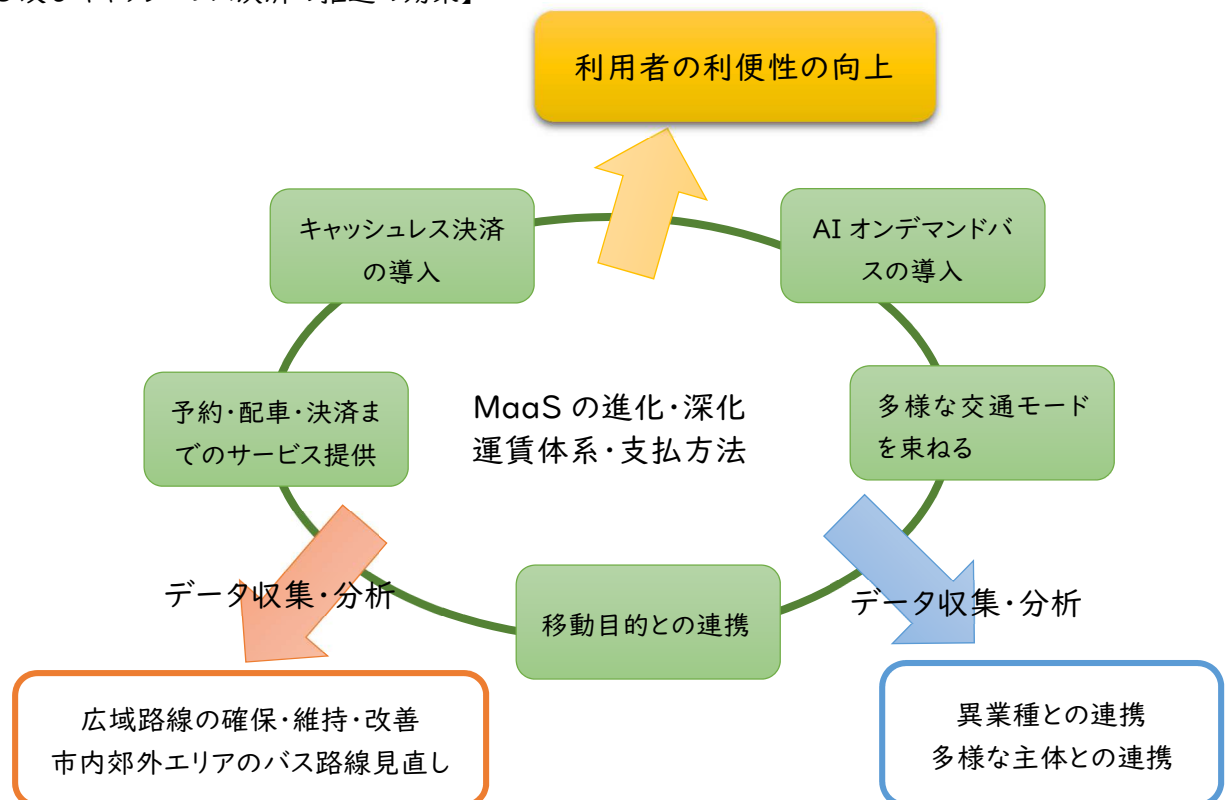
- ・茨城交通の路線バス全車両約 400 台に各種キャッシュレス決済を導入。(出典：茨城交通(株)プレスリリース)
- ・いばっぴ、Visa の利用：
タッチ決済端末の読取部に、いばっぴ、タッチ決済対応のカードやスマートフォン等をかざす。
- ・QRコード決済、MaaS デジタルチケットの利用：
整理券を投入後、端末のカメラに、スマートフォンの画面に表示した QR コードを読み取らせる。



導入予定時期	2023 年 12 月頃
導入対象	茨城交通が運行する一般路線バス全車両 約 400 台
ご利用可能となる支払方法	<ul style="list-style-type: none"> ・Visa のタッチ決済（クレジット・デビット・プリペイド） （今後、他ブランドの追加を検討中） ・QRコード決済 PayPay、メルペイ、d 払い、au PAY、LINE Pay ・MaaS デジタルチケット 茨城 MaaS で販売するデジタルチケット ・茨城交通発行の IC カード「いばっぴ」 ・現金（一部区間では回数券）

事務事業名	予約・配車・決済までのサービス提供				
事業概要	キャッシュレス決済の導入に合わせて、MaaSとの組み合わせにより、予約・配車・決済まで一連の流れで利用できるサービスの提供を検討する。 <予約・配車・決済サービス提供システムの研究> ・予約、配車、決済の各段階でのシステム開発及びシステム統合について調査研究を進める。 <データ活用の検討> ・運行情報、人流等のデータの二次利用について調査研究を進める。				
関係事業者	SMP 協議会、各交通モード事業者				
関連する事務事業	⑤-3 キャッシュレス決済の導入、④-4 多様な交通モードを束ねる、④-4 移動目的との連携				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
予約・配車・決済サービス提供システムの研究	SMP 協議会	・調査研究			・調査研究まとめ
データ活用の検討	SMP 協議会	・調査研究			・調査研究まとめ

【MaaS 及びキャッシュレス決済の推進の効果】



施策⑥：交通・まちづくりの連携

施策の目的	■他の分野と公共交通の連携を促進する。
効果	■各連携主体との相乗効果 ■公共交通の利用促進

⑥-1 異業種との連携

事務事業名	運行データの標準化・オープンデータ化の推進				
事業概要	路線バス等のダイヤや運賃、バスロケーションシステムのデータ等の標準化、オープンデータ化を進め、適切に更新していく。				
関係事業者	バス事業者、鉄道事業者				
関連する事務事業	⑤-2 バスロケーションシステムの活用、 ⑤-3 キャッシュレス決済の導入				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
GTFS データ、バスロケーションデータの更新	バス事業者	・データ更新			

【市内路線バスのオープンデータ対応状況】

区分	路線(運行事業者)	対応状況
広域路線	6路線(会津乗合自動車)	対応済み
郊外路線バス	7路線(会津乗合自動車)	対応済み ※オリンパス通勤線を除く
市街地路線	ハイカラさん・あかべえ、千石・神明線 (会津乗合自動車)	対応済み
	エコろん号(広田タクシー)	未対応
地域内路線	金川町・田園町住民コミュニティバス「さわやか号」	未対応
	その他の住民コミュニティバス	※デマンド交通のため現時点ではGTFS-JPの作成が困難

事務事業名	商業分野・観光分野との共創				
事業概要	人流データや、運行データ等について、商業分野や観光分野との連携を図り、利用促進策を検討する。				
関係事業者	会津 Samurai MaaS プロジェクト推進協議会(SMP 協議会)、各交通モード事業者、商業・観光事業者				
関連する事務事業	⑥-1 運行データの標準化・オープンデータ化の推進				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
人流データ、運行データのオープン化の検討	SMP 協議会	・調査研究			・調査研究まとめ

⑥-2 多様な主体との連携 ※重点事業

事務事業名		商業分野との共創			
事業概要	スーパーや商店街等と連携し、公共交通利用者に対してポイントサービス等の特典を付与する。 共同で乗り方教室を開催する。				
関係事業者	バス事業者、タクシー事業者、市				
関連する事務事業	④-4 移動目的との連携				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
スーパー、商店街との連携施策の検討	市	・商店街等との情報交換・協議	・実証事業等の実施		
乗り方教室の開催	市	・教室開催	・教室開催	・教室開催	・教室開催

事務事業名		観光分野との共創			
事業概要	観光客向けに周遊フリーパスを設ける。 公共交通チケットをセットにした旅行商品を販売する。 観光情報媒体に公共交通に関する情報を盛り込む。 イベント実施時に合わせた公共交通利用者への特典の付与。				
関係事業者	バス事業者、鉄道事業者、タクシー事業者、市、旅行業者、イベント事業者				
関連する事務事業	④-4 移動目的との連携				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
新たな観光周遊フリーパスの販売	バス事業者	・DMOとの連携協議	・実証事業等の実施		
新たな旅行商品の販売	旅行業者	・DMOとの連携協議	・実証事業等の実施		
イベント実施時の特典付与の検討	バス事業者	・イベント主催者との連携(随時)			

事務事業名	企業・事業者との共創				
事業概要	企業・事業者に働きかけ、通勤時の公共交通利用の促進を図る。				
関係事業者	バス事業者、鉄道事業者、市				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
通勤利用の働きかけ	市	・市内事業所への働きかけ	・市内事業所への働きかけ	・市内事業所への働きかけ	・市内事業所への働きかけ
通勤利用促進の導入	市	・利用促進施策の研究		・実証事業	・実証検証

事務事業名	地域住民との共創				
事業概要	出前講座やバスの乗り方教室を開催する。 公共交通へのサポーターづくりの推進を図る。				
関係事業者	市、バス事業者、鉄道事業者				
取組内容	実施主体 (案)	スケジュール(案)			
		R5	R6	R7	R8
出前講座・乗り方教室の開催	市	・教室開催	・教室開催	・教室開催	・教室開催
サポーター制度の研究	市	・先進事例調査		・市内適用検討	・調査研究まとめ

3. 本計画の進捗管理

3-1 本計画の評価指標・数値目標

本計画の評価指標及び数値目標は、「会津若松市地域公共交通計画」に掲げた評価指標及び数値目標とする。

【「会津若松市地域公共交通計画」の評価指標・数値目標】

6-3 評価指標・数値目標

(1) 評価指標及び数値目標の設定

本計画の達成状況の評価するための評価指標及び数値目標を次のとおり定めます。

基本方針	計画の目標	評価指標	単位	現状値 (R1)	現状値 (R2)	目標値(案) (R8)	現状値の算出方法	
利便性が暮らしと活力あるまちづくりの現実を寄与する 利便性が高く持続可能な公共交通を目指す	目標① “暮らし”を支える交通手段の確保	鉄道駅・バス停・デマンドエリア等による人口カバー率	%	83.5	83.5 (R3)	現状値より上昇	人口に対する路線バス停又は鉄道駅300m勢力圏内又はデマンド運行エリア内の人口の割合	
	目標② “おてかけ”が楽しくなる公共交通システムの構築	路線バス利用者の数	路線バス利用者の数	人/年	149万	89万	178万	路線バスの年間利用者数
			補助制度を活用する郊外路線バスの収支率	%	25.1	18.9	22.0	郊外路線のうち、国、県及び市の補助制度を活用して運行する路線の運送収入の合計/運行経費の合計から収支率を算出
		路線バスの分担率	買い物	%	-	2.0 (R3)	6.3	市民アンケートによる路線バス(市内を行走するバス、市外に向かバス)の分担率
			通院	%	-	4.3 (R3)	8.5	
		幹線区間(若松駅前、神明通り、竹田綜合病院、西若松駅)のバス停乗降者数	会津若松駅	人/日	550	369 (R3)	550	路線バス乗降調査により把握する、会津若松駅(若松駅前+若松駅前バスターミナル)、神明通り、竹田綜合病院、西若松駅の乗降者数
	神明通り	人/日	296	192 (R3)	296			
	竹田綜合病院	人/日	235	190 (R3)	235			
	目標③ データ活用と多様な主体の連携・協働による持続可能な公共交通の構築	地域内交通の利用者の数	地域内交通の利用者の数	人/年	8,270	6,872	8,200	地域内交通(みなづる号、北会津ふれあい号、みなとバス、さわやか号)の年間利用者数(10月~9月)
			地域内交通の収支率	%	13.7	13.8	13.8	各地域内交通の運送収入の合計/運行経費の合計から収支率を算出 ※現状値は、さわやか号、北会津ふれあい号、みなづる号の平均値(みなとバスの有償化はR4年度からのため)
		公共交通を支える住民組織数	件	4	4 (R3)	5	公共交通を支える住民組織数	
		利用促進助成事業を活用した各主体による利用促進の取組件数	件	13	17	41	利用促進助成事業を活用した各主体による利用促進の取組件数の平成27年度実績値からの累計	
	目標④ まちづくりに貢献し、環境に配慮した公共交通の構築	観光入込数	千人/年	3,002	918	4,000	市内の年間観光入込数	
運転免許返納者数		人/年	521	474	520	運転免許の年間返納者数		
まちなか周遊バスの利用者メタボ該当者及び予備群の割合		人/年	380,659	134,221	380,000	ハイカラさん・あかべえの年間利用者数		
		%	34.3	35.1	23.1	メタボ該当者及び予備群の割合		

76

3-2 本計画の進捗管理

本計画に掲げた事務事業の実施状況については、毎年度、会津若松市地域公共交通会議において進捗状況を確認・検証し、ローリング方式による計画の見直しを行っていく。

会津若松市地域公共交通計画アクションプラン
～利便増進実施計画～
2023-2026

策定:令和5年(2023年)3月
発行:会津若松市
調査・編集:会津若松市地域公共交通会議
(事務局 会津若松市企画政策部地域づくり課)
〒965-8601
福島県会津若松市東栄町3番46号
電話:0242-39-1111(代表)